

# 日本ヘルスコミュニケーション学会 第4回学術集会 ポスターセッションプログラム

日時: 2012年9月7日(金)17:00~18:30

場所: 慶應義塾大学看護医療学部湘南藤沢校舎 1階ロビーフロア

今大会では、医療系と健康系の2つのポスター演題発表が並行して行われます。演題番号中のPMは「医療」系列、PHは「健康」系列を示します。

## 医療コミュニケーション系(PM)

進行: 藤崎和彦(岐阜大学)

番号	筆頭著者名	筆頭著者の所属機関	発表演題名
PM-01	松岡 里枝子	国立看護大学校	国際会議のインターン経験による看護学生の英語コミュニケーション懸念軽減
PM-02	阿部 恵子	名古屋大学地域医療教育学講座	自己省察が医学生の子性と情動能力に及ぼす影響: 地域体験実習を通して
PM-03	井上 祥	名古屋大学医学部医学科	効果的なIPEを可能にする教育戦略の考察-コミュニケーション障壁の分析-
PM-04	梶谷 佳世	広島大学大学院医歯薬学総合研究科	困難な臨床現場で役立つ歯科衛生士のコミュニケーション教育に向けて
PM-05	林 英里	慶應義塾大学ヘルスコミュニケーション研究会	アトピー性皮膚炎患児の母親のステロイドへの抵抗感の形成過程
PM-06	千葉 宏毅	仙台往診クリニック 研究部/東北大学大学院医学系研究科医療管理学分野	在宅療養開始前に末期がん患者の家族が受けた説明とその理解に関する研究
PM-07	杉本 なおみ	慶應義塾大学看護医療学部	救急収容要請通話における語彙分布: 「音読み」と「訓読み」の身体部位呼称

## 健康コミュニケーション系(HM)

進行: 秋山美紀(慶應義塾大学)

番号	筆頭著者名	筆頭著者の所属機関	発表演題名
PH-01	佐藤 直子	一橋大学大学院社会学研究科	熱中症予防行動に情報源への接触とそこから生じた会話が与える影響
PH-02	本郷 愛実	慶應義塾大学ヘルスコミュニケーション研究会	育児雑誌における母乳代用品広告の量的・質的分析
PH-03	川本 彩多利	慶應義塾大学ヘルスコミュニケーション研究会	女子高校生と母親の子宮頸がん予防の認識に関する研究
PH-04	西根 英一	株式会社マッキャンヘルスケアワールド ワイドジャパン	東北弁ラジオ体操プロジェクト「おらほのラジオ体操」一起案から考察まで-
PH-05	岡崎 研太郎	京都医療センター臨床研究センター予防医学研究室	コミュニケーションに焦点を当てたプログラム「糖尿病劇場」の実践と評価
PH-06	酒井 由紀子	慶應義塾大学信濃町メディアセンター	一般市民向け疾病説明テキストのリーダビリティ改善実験(第2・3実験)
PH-07	北野 華子	慶應義塾大学 SFC 研究所	患者・家族向けの健康医療情報の質評価-EQIP 日本語版の開発-

## 発表者の皆様へ

### ■ポスターサイズ:

縦 130cm x 横 71cm に収まるようにご準備下さい。縦はできれば100~120cm が望ましい(写真参照のこと)。  
掲出用の画鋏・マグネット等は会場に準備いたします。

### ■ポスター掲出・撤去時間:

<提出>2012年9月7日(金)12:30-13:30

注:上記時間内のポスター掲出が難しい場合には、事務局(healthcomm2012@sfc.keio.ac.jp)までお申し出下さい。

9月6日(木)16:00 必着でお送り頂ける場合に限り、事務局が代わって掲出するように手配いたします。

送付先は追って個別にご連絡いたします。

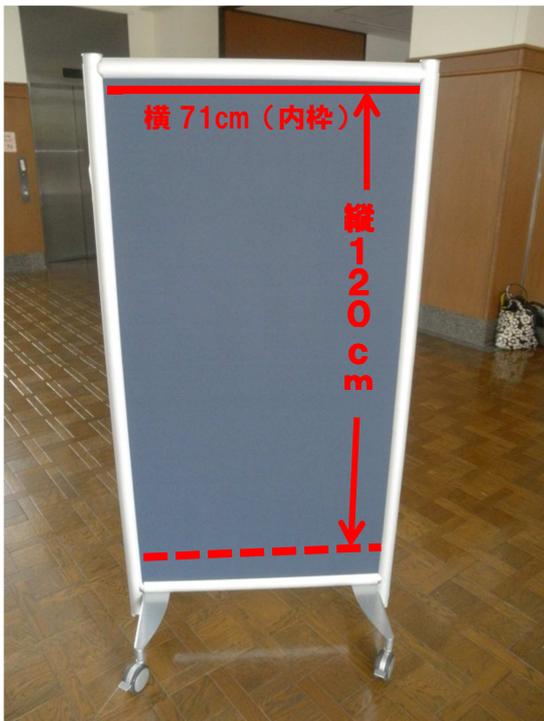
<撤去>2012年9月7日(金)18:30-19:00

注:上記時間内に撤去されないポスターは事務局にて処分いたしますので、ご了承下さい。

### ■発表時間: 発表4分 質疑応答 2分(計6分)

### ■奨励賞について

今大会では、ポスター発表の中から、奨励賞の対象となる演題を選出し、セッション直後に開催する懇親会にて表彰を行います。



ポスター展示ボード

(縦の有効寸法は135cmですが、ポスター自体は100~120cm以内に収めて頂く方が効果的です)



会場イメージ

